

生涯学習推進につなげる地域資源等を生かした取組と提案  
～中高生が学びを通じて地域の課題を解決しようとするために～

令和7年3月

名古屋市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習課



## はじめに

令和5年に閣議決定された「教育振興基本計画」（以下、「基本計画」）では、2040年以降の社会を見据えた教育政策におけるコンセプトともいえるべき総括的な基本方針として、「持続可能な社会の創り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」を掲げています。また、ウェルビーイングが実現される社会は、子どもから大人まで一人一人が担い手となって創っていくものであるとしています。そして、基本的な方針の一つである「グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成」では、地域が持続的に発展していくためには、地域への愛着・誇りを持ち、仕事を通じて経済的に自立し、地域の課題解決に主体的に参加する人材を育成する必要性を述べています。

本市では、令和6年に「コンパスぷらん（第4期名古屋市教育振興基本計画）」（以下、「コンパスぷらん」）を策定しました。「コンパスぷらん」では、子どもたちが社会との関わりを深めながら、目標を持って自ら未来をきり拓き、持続可能な社会の創り手として育っていくために必要な資質・能力・態度の育成が求められています。

本市生涯学習課でも、令和5年度「様々な年齢層を取り込んだ生涯学習推進の在り方」を主題として研究を進めました。若年層が社会教育施設を中心として様々な年齢層とつながりを持ち、社会に役立っているという達成感を得られるような提案をしました。その中で、魅力的な資源（人、場所、しかけ）を活用していくことが必要であるという今後の方向性について示しました。

これらの国や市の方向性を踏まえ、本年度の生涯学習研究部会では、魅力的な資源の中でも、地域の人材を生かした取組や提案について研究を進めることが、社会全体のウェルビーイングの向上につながるのではないかと考えました。そこで、研究主題を「生涯学習推進につながる地域資源等を生かした取組と提案」とし、学びを通じて地域の課題を解決しようとするような取組や提案を考えていきます。

本研究を、今後の生涯学習に関する講座・事業の展開について考える際の参考資料としてご活用していただければ幸いです。

令和7年3月

名古屋市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習課

## 目 次

I	現状分析	1
1	国の現状	
2	市の現状	
(1)	なごや学マイスター制度	
(2)	コミュニティづくり講座（区特化型・全市型）	
(3)	若年者（高校生）が講師となっている講座・事業	
3	他都市の先進事例	
(1)	広島県広島市の事例	
(2)	宮城県仙台市の事例	
(3)	静岡県浜松市の事例	
II	研究の内容	5
1	研究の方向性	
2	具体的な事例・提案	
III	研究のまとめ	9

資料編

## I 現状分析

### 1 国の現状

「基本計画」では、主題に関する内容として、次のように述べている。

- ① グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成【資料1】
- 我が国の子供たちは社会の形成に主体的に参画する意識が低いことが指摘されている。社会の持続的な発展を生み出す人材を養成するためには、自らが社会を形成する一員であり、合意形成を経て自らルールや仕組みを作ることができる存在であるという認識を持つことが重要である。
  - 地域が持続的に発展していくためには、その地域への愛着・誇りを持ち、仕事を通じて経済的に自立し、地域の課題解決に主体的に参加する人材を育成することが必要である。
  - 学校と地域住民が連携・協働することで、子供たちの学びの場を学校から地域社会に広げ、次世代の社会の担い手としての成長を支えていくことが求められる。

- ③ 地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進【資料2】
- 地域において人々の関係を共感的・協調的なものとするためには、社会教育による「学び」を通じて人々の「つながり」や「かかわり」を作り出し、協力し合える関係としての土壌を耕しておくことが求められている。こうして形成された地域の人々の関係は持続的な地域コミュニティの基盤となり、ひいては社会全体の基盤となる。「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の循環が生み出されることにより、地域コミュニティにおける個人と地域全体のウェルビーイングの向上がもたらされる。地域で人と人とのつながりを作り、協調的な幸福感を紡ごうと取り組んでいる人たちが自信と誇りを持つことができるようにしていく必要がある。

### 2 市の現状

「コンパスぷらん」では、次のように述べている。

- 基本的方向Ⅱ施策 10-6 地域における生涯学習の担い手の育成・活用【資料3】
- 地域において生涯学習を担う人材を育成するために、人材育成に関する講座・事業を実施するとともに、地域のコミュニティづくりを促進するため、講座の実施やなごや学マイスター制度を一層推進

本市生涯学習課では、これまでも、学習成果還元を通して、地域にかかわろうとする人材を育成する取組を、以下のように行ってきた。

#### (1) なごや学マイスター制度

なごや学マイスター（以下、マイスター）制度は、生涯学習センターで『なごや』の「歴史」「文化」「自然」に関して学習し、講座修了後に学習した成果を社会に還元しうる人材の育成と学習の継続を図ることを目的とする制度として、平成19年度に試行実施され、現在まで続く制度である。

マイスター講座は、市内16区の特徴を生かした講座となっている。マイスターの活動者数は、令和5年度末現在のべ3,841人である。

マイスターとして、市民に地域の魅力を伝え、学習成果を還元したり、地域課題について学びを深めたりする活動を行っている。

## (2) コミュニティづくり講座（区特化型・全市型）

地域への理解を深め、地域づくりを促進する人材を育てるため、生涯学習センターのさらなる活用を促し、学びを通して人材を育成することにつながる「コミュニティづくり講座（区特化型・全市型）」を企画し、開催している。受講した人たちが、子ども対象のイベントづくりにかかわることを通して、地域への理解を深めたり、地域の人々のふれあいを進めたり、地域づくりを促進する人材を育てたりしている。

### 【コミュニティづくり講座（区特化型）】

熱田生涯学習センター「☆コミュニティづくり講座☆熱田区の食文化を、知って、体験して、伝えよう！」では、連続講座内の第1回から第4回で学んだ成果を最終回である第5回で生かすような構成となっている。第5回の参加者と交流を深めたり、講座で得た知識などを伝えたりすることを通して、地域づくりに寄与できるようにした。受講者は小中学生であり、受講者が子ども対象のイベントづくりにかかわる点で、将来の人材育成の一端となるような講座となっている。また、受講した中学生が講師の助手として参加しており、学びの循環も生まれている【資料4】。

また、令和6年度に昭和生涯学習センターでは、「☆コミュニティづくり講座☆自然とふれあい、昭和区の魅力を親子で探そう」を開催した。第1回から第4回に昭和区にある自然の魅力を学び、その成果を最終回の自然体験事業で生かすような構成となっている。

### 【コミュニティづくり講座（全市型）】

令和4年度に「☆コミュニティづくり講座☆子どもを本の世界へ誘う案内人～読むことから始める地域づくり～」を開催した。受講者が最終回に子どもを対象に読み聞かせを行うことで、「学習する」「話し合う」「学習成果還元をする」といった段階を踏んだ内容とし、地域の活動へ積極的に参画していこうとする意識を高めていけるようにした。令和5年度より同様の講座を他区で行うようにし、令和6年度までに千種区と中区の2区で開催した【資料5】。

### (3) 高校生が講師となっている講座・事業

本市生涯学習課では、これまで、生涯学習センターで、高校生が得意な分野で講師となり、小中学生に指導することを通して、高校生の学習成果還元や社会貢献の場となる講座・事業を行ってきた【表1】。

開催時期	開催場所	講師	内容
令和5年度前期	昭和区	囲碁・将棋部	将棋
令和5年度後期	千種区	囲碁同好会	囲碁
令和5年度後期	西区	美術部	イラスト
令和6年度前期	昭和区	囲碁・将棋部	将棋
令和6年度後期	千種区	囲碁同好会	囲碁
令和6年度後期	北区	美術部	ダンボールアート

【表1】 高校生が講師となっている講座・事業

上記のような講座・事業を通して、高校生が講師となって、有用感や達成感を味わうことができている。一方で、全体で行われている講座・事業数としては、まだ少ないという現状である。中高生を持続可能な社会の創り手として育成すべく、このような学習成果還元をする機会を設けていくことがこれまで以上に必要になると考える。

### 3 他都市の先進事例

#### (1) 広島県広島市の事例

##### 「子ども西国街道ぶらり旅～井口編～ ボランティアガイド養成講座」【資料6】

《目的》地域の名所や旧跡を中学生が学習することで、地域への関心を高め、郷土愛を育み、ボランティアガイドとして活躍することができるようにする。また、ボランティアガイド養成講座受講者である中学生が、講座の最終回で小学生・保護者に地域の名所や旧跡をガイドすることで、達成感を味わうことができるようにする。

《参加者》受講者は中学生としている。また、ボランティアガイドとして活躍した中学生が高校生となった時、最終回に支援ボランティアとして参加できるようになっている。最終回に参加した小学生が中学生となったときに、ボランティアガイドとして養成講座に参加する仕組みによって、今後のボランティアガイドの後継者となることも期待される。

《概要》座学や現地学習を含めた全4回の講座である。最終回には、受講者の中学生が、参加した小学生・保護者に対し実際にガイドを行っている。

《参考点》中学生が地域の名所や旧跡をガイドするために学ぶことで、地域への関心を高める構成になっている。また、講座の受講者である中学生が、学んだことを生かして地域のために協働して活動する達成感を味わうことができるようになっている点が参考になる。

#### (2) 宮城県仙台市の事例

##### 「チャイルドボランティア『チャボ!』」【資料7】

《目的》小中学生が、「地域のためにできること」を企画・実践することを通して、自己肯定感を高め、将来、地域・社会の一員として積極的にかかわることができるようにする。

《参加者》小学4年生から中学3年生が、地域のためにできることを考え、実行している。

《概要》月に1～2回程度の活動の中で、地域の高齢者に配達する弁当に添える手紙を書いたり、児童館に来る児童を対象にしたイベントを企画・実施したりする「自分でできるボランティア」を考え、実践している。「誰かのためになりたい」「仲間を増やしたい」という小中学生の想いを実現している。

《参考点》「チャボ!」として活動している小中学生は、同じ目的の仲間をつくり、地域のために何かをしたいという意識付けができていた点が参考になる。また、「チャボ!」での活動を終えた後、活動の場を広げたいと考える中高生のために「ジュニアリーダー【資料8】」という制度を設けている。ジュニアリーダーでは、より専門的なボランティアにかかわる学びの機会を提供するとともに、これまで「チャボ!」での活動を通して身につけた学びの成果を地域の様々な活動で生かすことができる。小学生で始めたボランティア活動を、中高生になっても継続し、

活躍できる仕組みが整えられており、継続的な人材育成のあり方を考える上で、参考になる。

### (3) 静岡県浜松市の事例

#### 富塚協働センター 若者ボランティア「コミュニティアシスタント」

《目的》中高生が富塚協働センターで行われるイベントを主体的に企画したり、ボランティアとして参加したりすることで、地域にかかわる意識を高めることができるようにする。

《参加者》ボランティアとして活躍した中高生が、地域活性化に関するイベントに携われるよう、登録制としている。

《概要》富塚協働センターで活躍しているコミュニティ担当職員が中高生と直接かかわり、様々な面で活躍することができるように働きかけている。

《参考点》イベントを企画したり、参加したりした経験をもとに、地域について考えていく機会となっている点や年齢を重ね地域のために活躍しようという意識を高めることにつながっている点が参考になる。

## II 研究の内容

### 1 研究の方向性

本市生涯学習課では、マイスター制度など、学習成果還元を通して、地域の課題を解決していく取組は充実している。一方、中高生が学びを通じて地域の課題を解決することにかかわる事業は少ない。そこで、中高生という地域資源を生かした取組を以下のように段階的に進めていくことで、生涯学習推進につながるのではないかと考えた。


【第1段階】中高生が、地域で学ぶきっかけをもてるようにする。

【第2段階】中高生が、地域で学びを継続し、生かしていくことができるようにする。


## 2 具体的な事例・提案

本研究では、上記の段階をふまえた取組を以下のように行った。また、地域で学びを継続し、生かしていくことができるような提案をする。

### <事例1>【資料9】

<b>タイトル</b>	<b>ブレイキンに初挑戦！！</b>
<b>ねらいと工夫</b>	講師の実演を見たり、体験したりすることで、ブレイキンの楽しさを感じることができるようにし、生涯学習のきっかけとなるようにする。
<b>時期・日時</b>	12月15日（日）10：00～11：30
<b>会場</b>	名古屋市緑生涯学習センター 体育室
<b>対象・定員</b>	中学生・高校生またはこれに準ずる年齢の方・20人
<b>内容</b>	ブレイキンの体験をする。
<b>研究との関連性</b>	中高生が、地域で学ぶきっかけをもてるようにする。
<b>講座の様子・結果</b>	<p>講師が受講者にブレイキンについて初歩的な内容から実践的な内容まで幅広く丁寧に教えていた。受講者から、「テレビで見て、やってみたいと思ったけど、意外と難しく、やっている人はすごいなと思った。」「とても楽しかった。ブレイクダンスは自分の得意なこと（柔軟性・力の入れ方など）を生かして技をつくる楽しさに気づいた」という声があった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p style="text-align: center;"><b>【ブレイキンを学ぶ様子】</b></p>
<b>考察</b>	中高生が学ぶきっかけをもつという点で、よい内容であったと考える。今後も中高生の学びのきっかけになるような講座・事業を考え、開催していきたい。また、中高生が定期的集まり、生涯学習センターで活動する自主学習グループとなり、活動を継続できるような手だてを考えていきたい。そして、学びの成果を生かせるように、地域で披露する場や関心のある人に教える場などをつくることで、地域の課題を解決する意識が高まると考える。

<事例2>【資料10】

<p>タイトル</p>	<p>【名古屋文理大学短期大学部連携講座】 お菓子づくりでみんな笑顔に！</p>
<p>ねらいと工夫</p>	<p>お菓子づくりの専門家の指導のもと、世界や日本のお菓子などの特色や作り方について学ぶ。実際にお菓子づくりを体験することで、パティシエ・パティシエールの仕事について知る機会とする。また、地域にある大学について知ったり、地域で活躍する大学生とかかわりをもったりすることで、地域への愛着を深める。</p>
<p>時期・日時</p>	<p>11月23日・11月30日（土）10：00～12：00</p>
<p>会場</p>	<p>名古屋文理大学短期大学部 製菓実習室</p>
<p>対象・定員</p>	<p>中学生・高校生またはこれに準ずる年齢の方・20人</p>
<p>内容</p>	<p>大学生とともに、お菓子づくりの体験を行う。</p>
<p>研究との関連性</p>	<p>中高生が、地域で学ぶきっかけをもてるようにする。</p>
<p>講座の様子・結果</p>	<p>講師（大学生）も受講者（中高生）も最初は緊張しており、ぎこちないやり取りであったが、一緒に製菓体験をする中で、次第に会話が増え、なごやかな雰囲気となった。</p> <p>受講者（中高生）は、お菓子づくりの中で、身近な地域で夢に向かって学ぶ講師（大学生）と交流することで、地域の人への関心が高まった様子が見られた。受講者（中高生）からは、「またつくってみたい」「友だちに食べさせてあげたい」という声上がり、学んだことを生かしたいという思いを感じることができた。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;">  </div> <p style="text-align: center;">【お菓子づくりを学ぶ様子】</p>
<p>考察</p>	<p>中高生が、実際にお菓子づくりをすることを通じて、自分が興味をもった内容を学ぶきっかけをもつことができたと考える。また、地域の人とかかわりの中で、やりがいや思いを引き出すことができたと考える。今後は、中高生が、継続してみたいと思うような取組の提案をしていきたい。</p>

事例1・2の実施結果をふまえ、研究主題につながる取組を提案する。

＜提案1＞ ブレイキンチームを活用した取組

<p>ねらいと工夫</p>	<p>生涯学習センターを会場とし、中高生のブレイキンチームを結成する。ブレイキンの技術を向上させるために、チームのメンバーが定期的に学習会を実施する。社会教育主事がファシリテーターとして参加する回も設け、ブレイキンの学びを地域課題解決につなぐことができないか考えられるようにする。</p>
<p>対象</p>	<p>中高生</p>
<p>研究との関連性</p>	<p>中高生が、地域で学びを継続し、生かしていくことができるようにする。</p>
<p>事業展開案</p>	<p>〔トワイライトスクール・ルーム、なごホーム（児童館）でのブレイキン教室〕</p> <p>中高生が、地域で学びを継続し、生かしていく機会として、生涯学習センター近隣校のトワイライトスクール・ルーム、なごホーム（児童館）で、ブレイキン教室を開催する。小学生は中学進学時に、中高生は教室の後、ブレイキンチームに加わりたいという意欲が高まることが期待できる。既存メンバーは学習成果還元をするとともに、同世代に学びのきっかけを提供する機会となる。社会教育主事はブレイキンチームと地域の各施設をつなぐ役割を担う。</p> <p>〔商店街ににぎわいを！～あおぞらブレイキン～〕</p> <p>中高生が地域の課題を解決しようとする意識を高めることをねらう。具体的には、生涯学習センターの近くにある、人通りが少ないといった課題をもつ商店街を会場として、ブレイキンを気軽に楽しむイベントを開催する。結成したチームが、簡単なステップを教え、音楽に合わせてダンスをすることで、商店街を盛り上げていくことにつながり、自分たちの学びが地域の課題を解決することにつながる可能性があることを感じるようにする。</p>

## <提案2> お菓子づくりを学んだ中高生が学びを継続して、生かしていく取組

ねらいと工夫	専門家や大学生から学んだこと生かし、生涯学習センターや地域でのイベントに参加する。地域で活躍する大学生と協力して、お菓子を通して地域の人々とかかわることで、地域への愛着を深めることができるようにする。
対象	中高生
研究との関連性	中高生が、地域で学びを継続し、生かしていくことができるようにする。
事業展開案	〔お菓子づくりで地域を元気に！〕 生涯学習センターや地域のイベントで地域の人と作ったお菓子を食べながら交流できるイベントを行う。社会教育主事は、中高生の思いを引き出し、中高生と地域をつなぐ役割を担う。

### Ⅲ 研究のまとめ

本研究では、現状を分析し、主題に迫るための取組や提案を考えた。

事例1・2では、中高生が、学ぶきっかけをもちやすくするために、話題性のある内容である「ブレイキン」や、生活に結びついた内容である「お菓子づくり」を取り入れた。その結果、研究の方向性で示した第1段階まで迫ることができた。

また、中高生が、学びを継続するとともに、学習成果還元を通して、地域にかかわろうとすることができるような取組を提案した。

令和7年2月に「新しい時代の生涯学習センター等のあり方について（答申）」（名古屋社会教育委員協議会）を受領した。その中で、「第3章 新しい時代に求められる生涯学習センター等のあり方」において、生涯学習センター等に必要な視点として、「①誰もが使いやすい、ひらかれた身近な施設」、「②親しみやすい施設」、「③子ども目線の重視」、「④つながり、交流の場としての展開」の4点が挙げられた。世代や属性を超えた交流や学習の輪を広げる出発点となることや、幼いころから生涯学習センター等に来館する経験を重ねていくことが重要であるとし、生涯学習センター等が、これまでも増して「地域づくりの拠点」として機能していくことも期待されている。また、「多様な人々が気軽に集い、交流し、学び、教えあう身近な場」としていくために、市民の交流と地域活動の発展に資する取組が必要であるとされている。本研究の取組・提案は、中高生が学ぶきっかけをもつために、生涯学習センターや身近な地域で学んでいることから、新しい時代の生涯学習センター等のあり方に資するものであると考えられる。

今後は、生涯学習課として、このような中高生の学びを継続していくとともに、社会教育主事が中心となって中高生の学びを支援しながら、中高生が地域の課題を解決していく取組を進めていくことで、本市のさらなる生涯学習推進につなげていきたい。



## 資料編 目次

【資料1】教育振興基本計画(令和5年) . . . . .	1
【資料2】教育振興基本計画(令和5年) . . . . .	1
【資料3】第4期名古屋市教育振興基本計画(コンパスぷらん)(令和6年) . . . . .	2
【資料4】令和6年度前期 熱田生涯学習センター 講座 「☆コミュニティづくり講座☆ 熱田区の食文化を、知って、体験して、伝えよう」 . . . . .	3
【資料5】令和6年度後期 中生涯学習センター 講座 「☆コミュニティづくり講座☆ 本の世界に子どもと一緒に～読むことから始める地域づくり～」 . . . . .	4
【資料6】広島県広島市 「子ども西国街道ぶらり旅～井口編～ボランティアガイド養成講座」 . . . . .	5
【資料7】宮城県仙台市 「チャイルドボランティア『チャボ!』」 . . . . .	7
【資料8】宮城県仙台市 「ジュニアリーダー」 . . . . .	8
【資料9】令和6年度後期 緑生涯学習センター 「ブレイキンに初挑戦!!」 . . . . .	9
【資料10】令和6年度後期 西生涯学習センター 「【名古屋文理大学短期大学部連携講座】 お菓子づくりでみんなを笑顔に!」 . . . . .	10

## 【資料 1】教育振興基本計画（令和 5 年）

### Ⅱ. 今後の教育政策に関する基本的な方針

#### (2) 日本社会に根差したウェルビーイングの向上

##### ① グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成

(主体的に社会の形成に参画する態度の育成と価値創造の志向)

- 我が国の子供たちは社会の形成に主体的に参画する意識が低いことが指摘されている。社会の持続的な発展を生み出す人材を養成するためには、自らが社会を形成する一員であり、合意形成を経て自らルールや仕組みを作ることができる存在であるという認識を持つことが重要である。このことはOECDのラーニング・コンパスにおける生徒のエージェンシー（社会的な文脈の中で、変革を起こすために目標を設定し、振り返りながら責任ある行動をとる能力）の重視とも軌を一にする方向性である。地域の具体的な課題など実社会における課題解決学習やキャリア教育、主権者教育など、様々な活動を通じて主体的に社会の形成に参画する態度を育成していく必要がある。なお、校則の策定や見直しの過程で児童生徒が関与することについては、自ら校則を守ろうとする意識の醸成につながるものと考えられる。

(マルチステージの人生を生涯にわたって学び続ける学習者の育成)

- また、生涯学習の推進に当たっては、ICTの活用などによる柔軟な学習機会の一層の充実を図る必要がある。さらに、学校教育と社会教育が連携することも重要であり、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進により、学校と地域住民が連携・協働することで、子供たちの学びの場を学校から地域社会に広げ、次世代の社会の担い手としての成長を支えていくことが求められる。

## 【資料 2】教育振興基本計画（令和 5 年）

### Ⅱ. 今後の教育政策に関する基本的な方針

#### (2) 日本社会に根差したウェルビーイングの向上

##### ③ 地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進

(社会教育を通じた持続的な地域コミュニティの基盤形成)

- 地域において人々の関係を共感的・協調的なものとするためには、社会教育による「学び」を通じて人々の「つながり」や「かかわり」を作り出し、協力し合える関係としての土壌を耕しておくことが求められる。こうして形成された地域の人々の関係は持続的な地域コミュニティの基盤となり、ひいては社会全体の基盤となる。「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の循環が生み出されることにより、地域コミュニティにおける個人と地域全体のウェルビーイングの向上がもたらされる。地域で人と人とのつながりを作り、協調的な幸福感を紡ごうと取り組んでいる人たちが自信と誇りを持つことができるようにしていく必要がある。

【資料3】第4期名古屋市教育振興基本計画（コンパスぷらん）（令和6年）

基本的方向Ⅱ 子ども一人一人が幸福や生きがいを感じられるよう、誰一人取り残すことなく、学校・家庭・地域などが連携して子どもの育ちを支えます

10-6 地域における生涯学習の担い手の育成・活用  高校 大人	●地域における生涯学習の担い手の育成・活用【生涯学習課】		
	地域において生涯学習を担う人材を育成するため、人材育成に関する講座・事業を実施するとともに、地域のコミュニティづくりを促進するため、講座の実施やなごや学マイスター制度を一層推進		
	○なごや学マイスター講座	18講座実施	実施
	○なごや学マイスター制度における活動者数	累計3,840人	累計4,640人
	○生涯学習を担う人材の育成に関する講座・事業	26講座・事業実施	26講座・事業実施
○コミュニティづくり講座の受講者数	累計 36 人	累計 130 人	



【資料4】令和6年度前期 熱田生涯学習センター 講座  
 「☆コミュニティづくり講座☆  
 熱田区の食文化を、知って、体験して伝えよう」

令和6年度 熱田生涯学習センター前期講座のご案内

☆コミュニティづくり講座☆  
 熱田区の食文化を、知って、体験して、伝えよう



【日時】 令和6年6月29日～7月27日（土）10:00～12:00  
 【場所】 熱田生涯学習センター（7/6のみ名古屋食品卸センター）  
 【対象・定員】 小中学生とその保護者（2人1組）・8組16人  
 【費用】 受講料：1組600円

 詳しくは熱田生涯学習センターまで（TEL052-671-7231）

回	日時	学習プログラム	講師（敬称略）
①	6/29	【調理実習】 熱田区の食文化を、知って、体験しよう ～耳石採取編～	 
②	7/6 現地集合・解散 9:00～11:00	【現地学習】  熱田区の市場を見学しよう	おさかなマイスター
③	7/13	熱田区の食文化を、知って、体験しよう ～カツオ節削り体験・魚拓体験編～	
④	7/20	熱田区の食文化を伝えよう ～イベント企画を通して～	  
⑤	7/27 9:30～12:00	食育事業「魚の不思議を知ってみませんか、 体験してみませんか」で伝えよう！	 

◆ 発熱などの症状がある方、体調不良の方は受講をご遠慮ください。

【資料5】令和6年度後期 中生涯学習センター 講座

「☆コミュニティづくり講座☆

本の世界に子どもと一緒に～読むことから始める地域づくり～」

令和6年度中生涯学習センター後期講座

地域の子どもたちを笑顔に  
しませんか

☆コミュニティづくり講座☆

本の世界に子どもと一緒に  
～読むことから始める地域づくり～

10/21～12/16 一般 12人 無料

月曜日・5回 第1回～4回 午後2:00-4:00

第5回 午前10:00-12:00



こんな方におすすめです♪

- 本を読むことが好き
- 子どもの笑顔がみたい
- 地域で自分の力を生かしたい

講師

JPIC 読書アドバイザー

山村 眞午 (やまむら しんご)

📖 第5回 実践【現地学習】

第1～4回講座で読み聞かせのスキルを学び、第5回の「現地学習」では近隣の保育園のご協力のもと、子ども向けの読み聞かせ会を行います。

📖 締切：9月27日（金）必着

申込方法等の詳細は、裏面をご覧ください。

【資料6】広島県広島市

「子ども西国街道ぶらり旅～井口編～ボランティアガイド養成講座」

テーマ：活動を支える人材の育成 対象：中学生以上 主催：広島市井口・鈴が峰公民館

## 3-② 「子ども西国街道ぶらり旅～井口編～」ボランティアガイド養成講座

地域を学ぶ	○	地域でつながる	○	地域に還す	—
-------	---	---------	---	-------	---

### 1 学習プログラムの展開

日程	場所	学習・活動内容
令和元年 7月21日(日) 9:30～11:30	広島市井口公民館	①講習Ⅰ ・ガイドテキストや地図等により、井口地区の歴史・史跡・山陽道について学ぶ。
令和元年 7月28日(日) 9:30～11:30		②講習Ⅱ ・講習Ⅰの内容を踏まえてガイドをする際の原稿を作成し、実際の話し方について学ぶ。
令和元年 8月25日(日) 9:00～12:00	広島市井口公民館 西国街道井口地域	③現地リハーサル ・コースを回りながら、ガイド内容を確認し、当日のシミュレーションを行う。
令和元年 9月15日(日) 9:00～12:00	西国街道井口地域	④「子ども西国街道ぶらり旅～井口編～」 ・参加者(小学生・保護者)に、コースを回りながら名所や史跡のガイドを行う。



対象	①②③④中学生以上 ④小学生(1・2年生は保護者同伴)
経費	①②③④参加費無料 報償費：48,000円(井口・鈴が峰魅力づくり委員会の講師4名分) ※但し、④の9/15(日)に、参加者へ提供したかき氷とわた菓子の費用は、井口・鈴が峰魅力づくり委員会・井口学区子ども会育成協議会が負担
連携先	井口・鈴が峰魅力づくり委員会、井口学区・井口明神学区子ども会育成協議会、広島市立井口小学校、広島市立井口明神小学校、広島市立井口台小学校、広島市立鈴が峰小学校、広島市立井口中学校

問合せ先	広島市井口公民館 〒733-0843 広島市西区井口鈴が台2-14-8 電話・ファクシミリ：082-277-9258	広島市鈴が峰公民館 〒733-0852 広島市西区鈴が峰町44-1 電話・ファクシミリ：082-278-7599
------	---------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------

## 2 講座設定の理由（学習の目的）

- 地域の名所や旧跡をガイドする、中学生以上のボランティアガイドを養成することで、地域への関心を高め郷土愛を育む。
- ボランティアガイド養成講座修了者が小学生・保護者に対して、地域の名所や旧跡をガイドすることで、達成感を味わう。

## 3 学習目標

- 地域の方との交流を通して、井口地域に残る名所、旧跡について学び、子供たちへ伝えていくことの意義について考える。
- 講習で学んだことを生かして、子供たちへ分かりやすく伝えられるよう、内容や話し方を工夫して何度もシミュレーションを行うことで、実際のコースを回りながらガイドを行うことができる。

## 4 事前に必要な知識や準備物

- 井口・鈴が峰魅力づくり委員会と講義内容について確認（テキストの印刷・製本）
- 小中学校と連携し、ボランティアガイドと当日の参加者の募集
- 井口・鈴が峰魅力づくり委員会、井口学区・井口明神学区子ども会育成協議会と当日の運営（コース・班編成、引率者、わた菓子・かき氷の準備等）について連絡・調整

## 5 留意点

- 講習会やガイド当日に中学生（ボランティア養成講座の参加者は中学生のみだった）のボランティアガイドが都合等により急遽欠席となる場合があるので、一人が複数か所のガイドをこなせるように準備（練習）しておく。
- 9月は気温が高いことが見込まれるため、熱中症対策を十分に行う。
- 成果と課題を把握するため、ボランティアガイドと参加者の双方にアンケートを行う。

## 6 成果

- 多世代の地域住民と一緒に井口地域の名所や史跡を巡り、歴史を学ぶことができ、地域への関心を深めることができた。
- ボランティアガイドの中学生が参加者の小学生等にガイドを行うことで、地域のために協働して活動する達成感を味わうことができた。

## 7 課題

- 散策コースがある地域外からは、遠方となり参加しにくい状況があるため、地域外の方も興味を持てるようなコースの設定やプログラムの工夫について検討する。
- 井口・鈴が峰魅力づくり委員会のメンバーが高齢化しているため、講師役となる後継者の育成方法や開催時期（熱中症対策）について検討する。

## 8 今後に向けて

- 参加者が中学生のみにならないように、地域の成人の参加を広く呼びかけて、ボランティアガイド養成講座修了者が将来的に、井口・鈴が峰魅力づくり委員会のメンバーとして活動できるような体制・環境を整える。
- ボランティアガイドを経験した中学生が後継者となり、自主的に活動できるような、プログラム内容を検討する。

# チャイルドボランティア 一緒に活動する仲間 チャボ!<sup>だい ぼ しゅう</sup> 大募集



楽しい! 友だちができる! 成長できる!  
地域のためになる!

若林区内の小学4年生～中学3年生が対象です

毎月1回(主に土曜日午前)、  
若林区内の小中学生が集まり、  
ボランティアをします。

地域のために、自分たちにで  
きることを考え、実行します。

#### 参加者の声

(小学4年生)

別な学校の子とも  
交流ができて、友だ  
ちが増えました。自  
分が書いた手紙に  
お返事が来たとき  
が嬉しかったです!

(小学5年生)

手紙書きや児童館  
とのイベントなど、  
地域の人のために  
活動ができて楽し  
いです。興味がある  
人はぜひ来てね!

(中学1年生)

「楽しい」だけでは  
なく、メンバーの交  
流、自分の成長な  
どを後押ししてくれ  
る存在が、「チャ  
ボ!」の活動です。

#### ◆ これまで取り組んできた活動 ◆

##### 手紙書き

地域の高齢の方に  
向けた手紙書きは、  
季節に合わせた絵や  
文を自分で考えました。



##### 地域清掃

身近な地域の清掃や  
花だん整備をしました。  
終わったときの達成感が  
たまりません!



##### 児童館イベントの企画・運営

児童館の子どもたち  
向けに、イベントを考え  
ました。50人以上の  
子どもが集まりました。



##### 畑での活動

市民センターの畑で  
野菜を育てました。  
野菜は地域の団体に  
寄付も行いました。



##### デイキャンプ研修

メンバーが楽しみに  
している活動の1つ  
です。キャンプの中で  
防災の学習もしました。



#### <主な活動場所>

若林区中央市民センター別棟(※)  
若林区役所 など ※裏面に案内図

保護者の皆様向けの情報、申し込み  
方法は裏面をご覧ください。

# 中高生の皆さんへ ジュニア リーダー 大募集



詳しくは  
裏面へ

仙台市教育委員会が  
支援する中高生の  
ボランティアサークルです

## ジュニアリーダーの魅力

- ・ 学年・学校問わず、**多くの仲間**ができる！！
- ・ 仲間と交流したり、地域で活動したりする中で  
**人前に立つ力 リーダーシップ**が身に付く

## 活動内容

- ・ 地域からの要請による子ども向けボランティア
- ・ 月1～2回の交流会（ボランティアに向けたゲーム練習等）
- ・ 学校、家庭を優先して**自分のペースの参加**できる

## 登録までの 流れ

- ①近隣の市民センターもしくは市民センターHPより「ジュニアリーダー登録同意書」を入手
- ②必要事項を記入の上、「ジュニアリーダー登録同意書」を近隣の市民センターへ提出

## お問 い合 わせ

近隣の市民センターもしくはフォームでお問い合わせください。



若林区中央市民センター	282-1173	七郷市民センター	288-8700
荒町市民センター	266-3790	沖野市民センター	282-4571
若林市民センター	282-4541	六郷市民センター	289-5127

↑市民センターHP



ジュニアリーダー 仙台市市民センター

検索

↑お問い合わせ  
フォーム

令和6年度 緑生涯学習センター後期事業

# ブレイキンに 初挑戦！！

ブレイキン（ブレイクダンス）とは、  
音楽に乗せて、  
体のあらゆるところを使って回ったり、  
跳ねたりする  
アクロバティックな動きを  
取り入れたダンスのことです。  
中高生のみなさん！  
今熱いブレイキンを体験してみませんか。

2024.12.15(日)  
10:00~11:30



【プロフィール】  
現在インストラクター兼プレイヤーとして精力的に活動し、  
大会で獲得した優勝などのタイトルは30を超える。  
2022年10月、ダンスを始めた時からの夢であった  
世界最高峰ストリートダンスコンテスト  
「JAPAN DANCE DELIGHT vol.28」の  
ファイナリストとなり、  
2024年8月に行われたvol.30では、3位入賞を果たす。

【経歴】  
DANCE STUDIO ROAD インストラクター  
衣笠児童館「キングダムダンシングクラブ」元講師  
「OSAKA DANCE DELIGHT vol.38」優勝  
ダンスバトル大会「天下一舞道会」主催  
etc...

対象：中学生・高校生またはこれらに準ずる年齢の方  
定員：20人 受講料：中学生 150円 高校生 300円  
会場：緑生涯学習センター 体育室  
申込方法：電子申請・窓口・往復はがき  
申込締切：2024.11.15（金）必着

○往復はがきで、1枚につき1人ずつを申請ください。  
○往復はがきの往信裏面に「〒526-0801 緑区鳴海町字本町54番地」宛書名氏名・年齢・電話番号を、返信表裏面に「郵便番号」「住所」「氏名」を記入し、  
上記の申込締切日までに、当センターへお申し込みください。「氏名」には、ふりがなを付けてください。  
※10月1日から往復はがきの料金が変更となります。お申込みの際はご注意ください。

【インターネットで応募について】

名古屋市電子申請サービスホームページをご覧ください。  
<https://ttzk.graffer.jp/city-nagoya>

TEL：052-621-9121  
〒458-0801 緑区鳴海町字本町54番地

〈開館時間〉 平日・土曜日 9:00~21:00  
日曜日・祝休日 9:00~17:00  
〈休館日〉 第2火曜日・第4月曜日・年末年始

名古屋市西生涯学習センター 令和6年度後期講座

# あつまれ!! 中高生!!

【名古屋文理大学短期大学部連携講座】

## お菓子づくりでみんなを笑顔に!

お菓子づくりの専門家の指導のもと、世界や日本のイベントにちなんだお菓子をつくります。みんなで楽しくパティシエ体験をしてみませんか。



### ◆講座プログラム

回	日時	内容
1	11月23日(土・祝) 10:00~12:00	「ハロウィン」のお菓子をつくろう
2	11月30日(土) 10:00~12:00	「クリスマス」のお菓子をつくろう
3	2月22日(土) 13:30~15:30	「バレンタインデー・ホワイトデー」のお菓子をつくろう
4	3月1日(土) 13:30~15:30	「ひなまつり」のお菓子をつくろう

◆会場 名古屋文理大学短期大学部C館3階 製菓実習室  
(名古屋市西区笹塚町2-1)

◆講師 〈第1回・第2回〉  
名古屋文理大学短期大学部 助教 櫻井 瞳  
〈第3回・第4回〉  
名古屋文理大学短期大学部 助教 鈴木 梨沙

◇対象 中学生・高校生またはこれらに準ずる年齢の方

◇定員 20人

◇費用 受講料1,200円(中学生600円)  
教材費1,800円

◇申込方法  
名古屋市電子申請サービスで  
お申し込みください。  
こちらから→→→



◇申込締切 10月22日(火)

応募者が定員を超えた場合は申込締切日の翌日に抽選を行い、結果をメールでお知らせします。

**生涯学習推進につなげる地域資源等を生かした取組と提案  
～中高生が学びを通じて地域の課題を解決しようとするために～**

発行年月 令和7年3月

発行部数 110部

発行 名古屋市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習課

〒460-0001 名古屋市東区泉一丁目1番4号

Tel 052-950-5048

Fax 052-950-5041